



桶川東中だより

☆★令和3年度★★☆

桶川東中学校通信 No.6 発行：10月6日（水）

行事を通じて個と集団の成長を目指す

校長 矢澤 等

昨日、本校では写生会が行われました。澄み渡った青空が広がり、「天高く馬肥ゆる秋」のごとく、秋の到来を強く実感しました。さわやかなこの季節は、「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」などといわれ、諸活動を行うには良い時期とされています。イベントが多い2学期は、学年や学級で取り組む学校行事が多く予定されています。写生会では、美術科の教員が、「空の色や木の葉の色は、決して一色ではないよ」「影の中に色を感じられると良くなるよ」と助言しながら、生徒の意欲を高めていました。コロナ禍で、多くの活動が制限される中、久しぶりの屋外での活動は、普段とは違った学びがあったように感じます。

今月末には、「文化発表会・校内音楽会」が予定されています。現在、各学級では、音楽会に向けて、合唱練習に励んでいます。音楽会のスローガンは『歌楽風流（カラフル）～想いと歌声を一つに～』に決まったようです。歌を楽しみ風のごとく流れるようなメロディを奏でること、カラフルなクラスカラーを表現すること、それらを学級の仲間と想いと歌声を一つにまとめることで伝えていこうというねらいが伝わってきます。実行委員会でもとても素敵な目標を話し合ってくれたと思います。

学級で合唱を創り上げることは、簡単なことではありません。練習開始から本番まで、毎年、クラスの数だけ「物語」があります。意欲や姿勢が課題となる時期、声量や強弱・ハーモニーを意識する段階、歌詞の意味や曲想を表現するために、気持ちや表情まで追求する場面、芸術作品を創り上げる過程では、「これで満足（完成）」というものはなく、学級が真剣になればなるほど、いさかいが起こったり、雰囲気には波が生じたりすることもあります。限られた時間の中で、なんとかそれを克服し、みんなで一つの作品を表現しようと努力します。本番で歌い終えたときに、仲間と取り組んだ時間が、素晴らしいものを感じられるような学級であってほしいと願います。

11月にも、延期した体育祭が控えています。こちら、練習した分だけ成果につながるような取り組みを目指します。お互いの良さを発揮したり、不得意なところを補いあったりして、個の成長と集団の成長の両方を期待しています。生徒たちが、目を輝かせ、緊張し、歓喜の声を上げる、そうした機会を大切にしていきたいです。

10月の生活目標

☆何事にも協力して、まとまりのある活動しよう。

重点目標

○音楽会・体育祭に向けて協力する。